

7月8日付で延期をお知らせした震災遺構（旧東海大学阿蘇校舎1号館及び地表地震断層）の一般公開について、下記のとおり開始しますのでご案内します。  
なお、当初予定していたセレモニーについては実施しませんので、申し添えます。



熊本地震 震災ミュージアム  
Kumamoto Earthquake Museum

## 震災遺構（旧東海大学阿蘇校舎1号館及び地表地震断層） を一般公開します

県と市町村で整備を進めている熊本地震震災ミュージアム「記憶の回廊」の取組の一環として、保存工事を実施した旧東海大学阿蘇校舎1号館及び地表地震断層を下記のとおり一般公開します。

旧東海大学阿蘇校舎1号館はかつて東海大学農学部の講義棟として使用されていた建物で、熊本地震の威力や脅威を今もなお伝えていています。被災した建物と地表地震断層を一体的に見学できる例は国内でも大変貴重なものです。

- 1 日 時：8月1日（土曜日） 午前9時から
- 2 場 所：旧東海大学阿蘇キャンパス（阿蘇郡南阿蘇村河陽5435）
- 3 開館時間：火曜日を除く午前9時から午後5時  
（11月中旬から翌年2月末の間は午後4時まで）  
※公開時間中は、管理人（語り部）が常駐し、説明等を行います。
- 4 入場料：無料

↓熊本地震震災ミュージアムに関する情報はこちらから↓  
<https://kumamotojishin-museum.com/>

お問い合わせ先  
知事公室付 林田 井上  
内線 3042  
直通 333-2011

(知事コメント)

- 熊本地震の教訓等を後世に伝承する熊本地震震災ミュージアムの取組の一環として県が整備した震災遺構（旧東海大学阿蘇校舎1号館及び地震断層）を8月1日土曜日から一般公開いたします。
- 世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルスの感染拡大や県南地域を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨災害への対応の最中ではありますが、4年という短期間で二度もこのような未曾有の災害を経験した熊本県として、被害の実情や復旧・復興のノウハウをしっかりと次世代に伝承していく責務があります。
- 今回一般公開する旧東海大学阿蘇校舎1号館は、被災した当時の姿をそのまま保存し、その建物の真下を走る断層と一体的に見学できる国内に例がない、極めて貴重な遺構となっています。
- 新型コロナウイルスが感染拡大している状況ですので、マスクの着用や手指の消毒、人との距離を確保するなどの対策を十分取っていただいたうえで、是非、皆さんに訪れていただきたいと思います。